

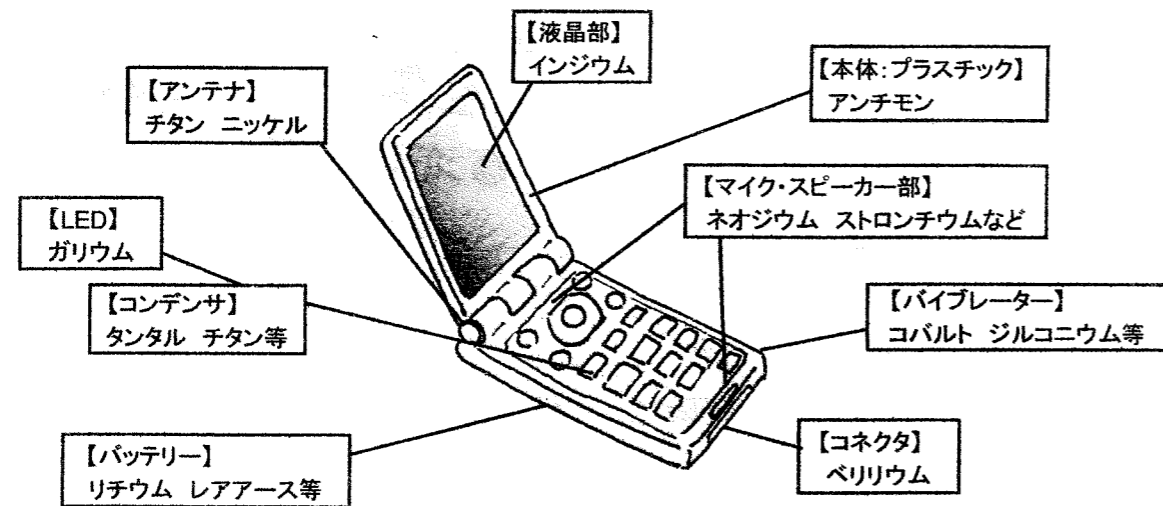
リレー記事 No.63

ハイテク産業の必需品「レアメタル」



最近、よく聞くレアメタルやレアアースってどんなものでしょうか？
レアアースは、31鉱種のレアメタルのなかに含まれるそうです。

レアメタルは、携帯電話、デジカメ、オーディオ、小型ゲーム機器、電子辞書などの電子機器や、ソーラーパネルなどの環境技術分野に使われています。私たちは、知らないうちにレアメタルに囲まれて生活していたんですね。



わずかな量を添加剤や触媒として使われることが多いレアメタルは、「原料を大量に集められない」、「抽出にエネルギーやコストがかかる」、「金属価格が低い」などの問題があり、まだまだ効率よくリサイクルできるまでには至ってないようです。それでも、レアメタルの輸入がストップすると、日本のハイテク産業がストップしかねないほどの影響がある重要な金属です。

福岡県は平成20年より環境省の「使用済み小型家電の回収モデル事業」に参加していて、大牟田市、筑後市、大木町では17%と高い回収率となっています。4月より新宮町も参加して、ステーション回収を始めています。新宮町によると、これまで金物として収集していた資源ゴミのなかのデジカメ、携帯電話、リモコンなど13品目を小型家電として集めているそうで、4~7月の4ヶ月間の収集量は合計227kgに上るそうです。このモデル事業で効率性や経済性の問題が解決できれば、小型家電リサイクルが制度化される日がくるかもしれません。

Ms.W



参考資料:日本経済新聞社西脇文男著「レアメタル・レアアースがわかる」
県環境部循環型社会推進課 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会資料

空高く、季節は少しづつ秋の気配を感じながらも、日中はざらざらと残暑厳しい9月の中旬、福岡陽晃運輸の大中社長にお話を伺いました。会社は古賀の薬王寺温泉のちょっと奥の、静かな環境の中がありました。



Q. 未来のために、今何が重要だとお考えですか

貨物自動車を使う仕事だけにCO₂を減らす等、交通エコロジ・モビリティの取り組みを実践している

交通エコロジ・モビリティ財団のグリーン経営認証を受け登録されているそうです。

Q. そのために、ご自身が暮らしの中で心がけておられることを聞かせて下さい

いつも「もったいない」の気持ちでいる

壊れたら直して使うのは当たり前。使い捨て社会を嘆いておられました。

Q. 未来を創るための決意

自然を大切に致しましょう

大中社長にとって、人に迷惑をかけない姿勢の延長に、自然を大切にしたいという思いがあるのだそうです。さらに責任ある行動、仕事への取り組みにつながっているとも言われました。会社で長くお仕事をされてきたが故の誇りを感じながら、お話を伺うことができました。

K

今回のエコけん1%クラブ

10月 18(土) 9:00~11:00 古賀市グリーンパーク
育林行動(草取りなど)

10月16日(日) 11:00~15:00 エコロまつり(古賀市筵内エコロの森)
るんるん♪ごみ拾い

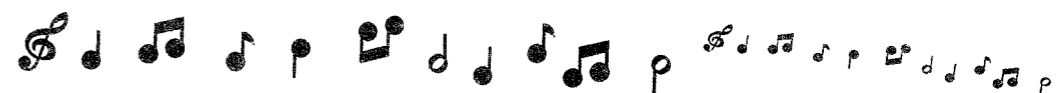


思いを形に

特定非営利活動法人 **エコけん**



エコけん 秋の活動報告



鍋炊飯教室



9月8日(木) 舞の里5区集会所
9日(金) 舞の里3区集会所

満員御礼!

- メニュー
- ◎金鍋ごはん
 - ◎豆腐のみそ焼き
 - ◎汁もの ◎旬のお漬物の
 - ◎デザート付き!

地域密着教室にチャレンジした結果、20才代から60才代と幅広い年齢の方にご参加いただきました。

メニューは、簡単、でもおいしくて節電。エコな調理法やお片づけは、「目からうろこ」とご満足いただけました。和気あいあいとした楽しい教室になり、私たちの励みにもなりました。

「エコエコ鍋炊飯教室」は、お住まいの地域で5人以上の参加者がそろえば出前しています。ぜひ、お声かけ下さい。

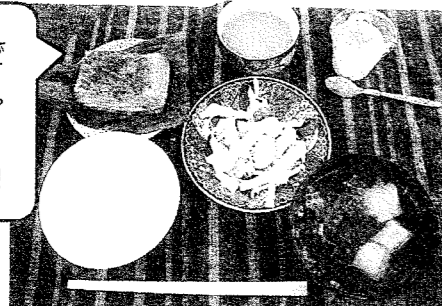
参加者の声

短時間だったので驚きました。

意識して工夫すればいろいろできることがあると気づきました。

知らない人たちといろいろな会話ができて、楽しいひとときでした。

すごく簡単でおいしかった。味噌が最高でした!!!



忘れないようにさっそくチャレンジしたいと思います。



なべ底から火が出ないようにすることもエコだということにはっとさせられました。勉強になりました。

るんるん♪ごみ拾い



9月23日(金) 10:00~16:00

九州大道芸まつり in 宗像



今年で15回目になるという九州大道芸まつりは、しっとりとした旧唐津街道(宗像市野坂)で行われました。延長1kmほどの路地に4つのステージが設けられ、それぞれで大道芸が披露されます。

沿道には、コンクール作品のかかしが、あちこちでお出迎えしてくれました。地域の方が出した路店やおうちを解放した喫茶店、ミニ美術館もあり、ゆっくりと時間を過ごせます。風情のある街並みに、チンドン

の音楽が流れ、懐かしい気持ちで胸がいっぱいになりました。

そこに登場!「るんるん♪ごみ拾い」隊。まつり会場をきれいに盛り上げたい、と、総勢61名の方にご参加いただきました。

前日に掃除をされていたそうで、ごみはあまりなかったのですが、お昼を過ぎると、ごみもちらほら。初めは乗り気でなかった参加者も一生懸命ごみを探したそうです。



拾ったごみと同じカードが出るとポイントが倍になると抽選は、大盛り上がりでした。



「もう1回したい」といわれることも多々あり、なかなかの人気ぶりでした。まつりの実行委員の方からも「また来年も来て下さい。」と暖かい声をいただき、次回の「るんるん♪ごみ拾い」も、がぜんがんばる気持ちになりました。

“まつりに「るんるん♪ごみ拾い」あり”といわれる日も遠くないかもしれません。

ひらっち